



東区

① 概況

地勢・都市環境

- 東区は市の南東部に位置し、平成19年の合併による旧瀬戸町地域を含み、区域の面積は約161km²で岡山市の約20%を占めています。
- 一級河川の吉井川が区域を貫流し、中央には芥子山があり、南は児島湾と瀬戸内海に面し、沖合には市内唯一の有人離島である犬島があります。
- 土地利用状況では、山林や田、畑などの自然的土地利用の割合が約8割を占めています。
- 吉井川は、散策やスポーツ等の身近な憩いの場として親しまれています。また、吉井川、百間川の河口一帯には、干拓による広大で豊かな農地が広がり、良好な自然景観を形成しています。
- 西大寺地域は、東備地域の中心地であり、北前船や高瀬舟が寄港する吉井川河口の港町として、また、西大寺観音院の門前町として発展してきた経緯から、行政・商業機能等が集積しています。
- 主要地方道岡山牛窓線沿線や上道地域では市街化が進展するとともに、臨海部、新産業ゾーン¹、瀬戸地域、上道地域には工場が集積し、岡山市の製造業の中枢を担っています。
- 瀬戸地域は、山陽自動車道へのアクセスが良好なことなどから、数多くの企業が進出するとともに、県南都市圏の近郊住宅地としても発展してきています。



吉井川



新産業ゾーン

人口・世帯

- 令和2年国勢調査では、人口は93,108人（市人口の12.8%）と、4区の中で最少となっています。
- 直近5年間の人口動態をみると、一部年次を除いて社会減と自然減の状況が続いており、岡山県毎月流動人口調査での令和7年12月1日現在の人口は、88,737人となっています。
- 高齢化率は、31.2%と4区の中で最も高くなっています。一方、生産年齢人口の割合は56.9%、年少人口比率は11.9%と、いずれも4区の中で最も低くなっています。
- 1世帯当たりの人員は、2.42人と4区の中で最も多く、単独世帯²の割合は、29.4%と4区の中で最も低くなっています。また、夫婦とこどもからなる世帯の割合は、28.3%と南区に次いで高くなっています。
- 区民のうち外国人住民が占める割合は2.4%で、約2,100人が居住しています（令和7年11月末現在、住民基本台帳）。
- 昼間人口³が夜間人口⁴を下回っており、流出超過となっていますが、その差は縮小傾向にあります。地域別にみると、北区への流出超過数が最も多く、次いで隣接する他市（備前市、瀬戸内市）が多くなっています。

地域資源

歴史・伝統・文化

- 室町時代から500年以上の歴史を誇る西大寺会陽（はだか祭り）は、平成28年3月に国の重要無形民俗文化財に指定されました。
- 西大寺観音院や国指定史跡の浦間茶臼山古墳、大廻小廻山城跡、万富東大寺瓦窯跡等の歴史・文化遺産が数多く残されています。また、吉備最古の大型前方後円墳である浦間茶臼山古墳が「『桃太郎伝説』の生まれたまち おかやま」の、西大寺観音院や吉井川沿岸常夜燈群などが「北前船寄港地・船主集落」の日本遺産構成文化財に追加認定されています。
- 城下町岡山の礎を築いた宇喜多直家・秀家親子ゆかりの乙子城跡、亀山城（沼城）跡等の史跡や、津田永忠による幸島新田、沖新田開発という歴史的な業績が残されています。また、倉安川の取水口にある倉安川吉井水門は、令和元年に、「倉安川・百間川かんがい排水施設群」として、世界かんがい施設遺産⁵に登録されました。
- 吉井川の港町として栄えてきた五福通り周辺は、伝統的な建造物群による景観が評価され、映画やドラマのロケ地となっています。

自然・景観

- 犬島には、かつての銅製錬所の遺構を保存・再生した犬島精錬所美術館があり、瀬戸内国際芸術祭を契機に観光地として脚光を浴びています。
- 豊地域のナゴヤダルマガエル、瀬戸地域のアユモドキ⁶や宗堂桜、大宮地域のホタルなど、希少な動植物が生息し、各地域で保全活動が行われています。
- 朝日地域からは、瀬戸内の多島美を楽しむことができます。
- 市街地に隣接し、児島湾を望む芥子山公園は、市民に憩いの空間を提供する貴重な緑地となっています。

特産品

- **農産物** 上道・古都地域のニューピオーネ、雄神地域のあたご梨、上南地域のイチゴ、瀬戸地域の太秋柿・白桃等
- **海産物** 朝日・九幡地域のノリ

公共施設

- 区域の中心部には、東区役所をはじめ市の関係機関があり、これらに隣接して、西大寺緑花公園、体験学習施設である百花プラザがあります。
- 上道地域には、農業公園として整備された三徳園があります。
- スポーツ施設として向州公園、六番川水の公園、瀬戸町総合運動公園等があります。また、政田サッカー場はファジアーノ岡山の練習拠点にもなっています。
- 犬島には、自然の家、キャンプ場等が整備されています。

出先機関
主な市の

- 東区役所、瀬戸支所、上道地域センター、市民サービスセンター（古都、朝日）
- 東区福祉事務所、東区保健センター
- 公民館（西大寺、上南、上道、旭東、山南、瀬戸、万富）



西大寺観音院



浦間茶臼山古墳



宗堂桜



芥子山



犬島



政田サッカー場

用語説明

1 新産業ゾーン：西大寺地区に位置し、製造業等を中心とする企業団地のほか、下水処理場やゴミ処理場等の機能を集めた地域。
2 単独世帯：P159の脚注参照。

3 昼間人口：P161の脚注参照。
4 夜間人口：P161の脚注参照。

5 世界かんがい施設遺産：P161の脚注参照。
6 アユモドキ：P137の脚注参照。

区の概況図(東区)



- | | |
|----|----------------|
| 凡例 | ● 歴史・伝統・文化等 |
| | ● 自然・景観等 |
| | ● 公共施設等 |
| | ● 市の出先機関(市庁舎等) |
| | ● 市の出先機関(公民館) |
| | ● その他 |

② 現状と課題

特色ある地域づくり

- 西大寺地域の中心部における「西大寺ファンタジー」や「西大寺朝市」、瀬戸地域における「三谷公園もみじフェスタ」など、地域が主体となったイベントが開催されています。
- スポーツ・文化活動が活発で、「東区スポーツ大会」や「郷土芸能フェスティバル」等に加え、区民主導での「おかやま西大寺マラソン」が開催されています。また、政田サッカー場では、ファジアーノ岡山との連携により、こども向けサッカー教室が開催されています。
- 伝統的な建造物群が残る五福通りでは、まちなみの保存と活用が求められており、地域主体の「西大寺五福通りレトロ・マルシェ」が開催されています。
- 「西大寺会陽」には、外国人を含む多くの観光客が訪れ、海外マスメディアにも多く取り上げられています。また、犬島は、瀬戸内国際芸術祭の開催により文化・芸術の島として注目されています。
- 地域の歴史・文化の由来等を紹介する看板（岡山歴史のまちしるべ）の設置や、地元高校生や大学生との協働による地域の活性化や魅力の再発見を図る事業を実施しています。新たな人を呼び込むためにも、特色ある行事やイベント等を継承し、活動を担っていく人材の育成を進めるとともに、様々な地域資源を活用し、その魅力を発信していくことが求められています。
- 東区役所、西大寺緑花公園や複合商業施設が整備された「元気な新拠点」は、地域の交流の場としての一層の活用が期待されています。



西大寺ファンタジー



会陽冬花火

- 地域固有の魅力ある資源をいかす取組を、区民をはじめNPOや企業等の多様な主体と協働して進めることが求められています。
- 身近で魅力のあるまちづくりや地域課題の解決のため地域資源や特色をいかしたまちづくりを進めていく必要があります。

人口・コミュニティ

- 国勢調査で見ると、平成22年をピークに既に人口減少期に突入しており、人口減少率が高い地域も存在します。
- 単身高齢世帯の割合は低いものの、山間部や田園地帯、モータリゼーション⁷の進展に伴い開発された大規模団地等で、高齢化率が特に高い地域があります。
- 町内会加入率は、4区の中で最も高いものの、近年低下傾向にあります。
- 持続可能な地域づくりを進めるため、高齢者をはじめ多様な年代の区民が集い交流できる環境の整備や、若者をはじめとする新たな担い手の育成等により、地域コミュニティの活性化を図る必要があります。

産業・農業

- 産業別の付加価値⁸額では、第2次産業の割合が4区の中で最も高くなっています。また、全産業に占める製造業の割合も4区の中で最も高くなっています。
- 瀬戸インターチェンジや産業拠点の周辺など、産業利用の適地への企業の立地を進める必要があります。
- 南部の広大な干拓地では、米麦の生産が盛んであり、特に小麦（ふくほのかなど）の作付面積は県下で約6割を占めています。その他区内各地域では、ブドウ、白桃、梨、イチゴなどの果樹栽培で高付加価値型農業⁹が行われていますが、農業後継者不足や耕作放棄地の増加、鳥獣被害増加等の課題があり、持続可能な農業の振興を図る必要があります。

用語説明

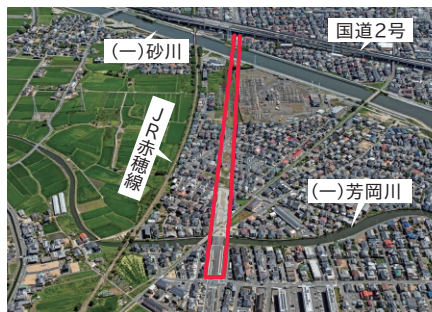
⁷ モータリゼーション：日常生活において自動車の利用が普及すること。

⁸ 付加価値：P12の脚注参照。

⁹ 高付加価値型農業：農産物の品質向上等の取組により、市場での価値を高め、収益向上を図る農業形態のこと。

交通

- 広域的な交通ネットワーク強化や高速道路へのアクセス強化等のため、地域高規格道路である主要地方道佐伯長船線（美作岡山道路（瀬戸ジャンクション～熊山インターチェンジ））の整備を進めています。
- 外出する際に自家用車を利用する区民の割合が高く、都心部へのアクセス集中がみられることから、主要地方道岡山赤穂線（外環状線）や市道西大寺上中川町1号線などの幹線道路の整備、上道駅へのエレベーター設置や駅前広場整備による鉄道の利用環境改善などにより、交通利便性の向上に努めてきました。
- 引き続き、地域の活力や日々の暮らしを支えるため、幹線道路等の整備やボトルネック交差点¹⁰の改良、鉄道の利用促進などによる渋滞対策、バス路線の再編などによる公共交通の利便性の向上を図る必要があります。
- 千種地区、角山地区、城東台・草ヶ部地区、朝日地区及び幸島地区では地域住民及び交通事業者との連携による生活交通¹¹が導入されています。
- 今後、高齢化が一層進むことが見込まれることから、公共交通不便地域¹²において買い物や通院等の日常生活に必要な移動手段を確保していく必要があります。



市道西大寺上中川町1号線整備状況

健康づくり

- これまで、健康市民おかやま21¹³東区地域推進会議では、区民主体の健康イベントや、ええとこ発見図¹⁴を活用したウォーキング大会の開催などにより、歯と口腔、身体活動・運動について重点的に取り組んできました。今後は、栄養・食生活を通じた健康づくりを進めるなど活動の幅を広げるとともに、区全域だけでなく、中学校区又は小学校区単位での推進組織をいかし、地域の特性にあわせた健康づくり活動を進めていく必要があります。

防災・防犯

- 集中豪雨や台風の際に、砂川流域では浸水被害、東南部の瀬戸内海沿岸部では高潮被害が発生しており、平成30年7月豪雨時には砂川の一部決壊により甚大な浸水被害が発生しました。また、南部の干拓地を中心に、南海トラフ巨大地震等での液状化や津波による浸水被害等が起こる可能性が指摘されています。そのため、国、県と連携しながら災害に強い地域づくりを進める必要があります。
- 各地域では、防災訓練や防犯灯・防犯カメラの設置等、地域防災・防犯の担い手である町内会、安全・安心ネットワーク¹⁵、自主防災組織¹⁶等の地域団体による防災・防犯活動が活発に行われていますが、構成員の高齢化、担い手不足が課題となっています。地域団体の自主的な活動を維持・強化するための支援を行うとともに、非常時に備え、平素からの普及啓発活動等に取り組む必要があります。
- 用水路の危険箇所については、計画的に転落防止柵の設置など安全対策を実施してきましたが、依然として転落事故は発生していることから引き続き取り組んでいく必要があります。



東区総合防災訓練

用語説明

¹⁰ ボトルネック交差点：P133の脚注参照。
¹¹ 生活交通：P31の脚注参照。
¹² 公共交通不便地域：P168の脚注参照。

¹³ 健康市民おかやま21：P70の脚注参照。
¹⁴ ええとこ発見図：自分たちの住んでいる地域のええとこ（いいところ）を盛り込んだウォーキングマップ。

¹⁵ 安全・安心ネットワーク：P57の脚注参照。
¹⁶ 自主防災組織：P28の脚注参照。

③ 区づくりの将来目標

歴史が息づき、愛着と誇りの持てる いつまでも住みたいまち 東区

まちに息づく特色ある歴史・伝統・文化と豊かな自然環境等の地域資源の魅力をいかしながら、地域で生まれ育った若者をはじめ、誰もが地域に愛着と誇りを持ち、いつまでも住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちづくりを進め、人口減少社会が既に到来している中であっても、持続可能で活力ある東区の実現をめざします。

④ 区づくりの重視すべき視点

視点①

特色ある歴史・伝統・文化をいかし、 地域の魅力を高める

- 東区固有の歴史・伝統・文化をいかしたまちづくりにより、区民の地域への愛着と誇りを醸成します。
- 地域との協働により各地域で特色ある行事・イベントを開催するとともに、様々な地域資源の魅力を積極的に発信することにより、区内外の交流や多世代のふれあいを活発化させ、賑わいのある、人を呼び込むまちづくりを進めます。

視点②

産業・農業を振興し、地域経済を活性化する

- 企業立地の推進等を通じて産業を振興し、雇用の場を創出するとともに、魅力ある農業を振興することにより、地域経済を活性化させ、持続可能なまちづくりを進めます。

視点③

自然と共生し、 より快適で安全・安心な暮らしを実現する

- 交通利便性の向上等により生活の質を高めるとともに、健康づくりを充実させることにより、あらゆる世代が豊かな自然と共生しながら快適で健やかに暮らせるまちづくりを進めます。
- 地域の防災・防犯力を高め、みんなで支え合い、こどもから高齢者まで誰もが安心して暮らすことのできる、安全・安心なまちづくりを進めます。

⑤ 施策展開の方向性

方向性1 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり

- 地域との協働により、各地域の伝統行事・イベント等の一層の魅力向上に努め、多くの人の来訪につなげます。また、様々な行事を継承するため、活動を担う人材の育成を進めます。
- 「岡山歴史のまちしるべ」等の活用により、区民や観光客がまち歩きを楽しみながら歴史・伝統・文化への理解を深められる環境づくりを進めます。
- 五福通り周辺の地域住民による主体的なまちなみの保存や活用への取組を支援します。
- 各地域固有の歴史・伝統・文化等の観光資源について、地域住民、周辺市町、関係団体との連携を図りながら効果的な活用を進めるとともに、国内外にその魅力を積極的に発信し、観光客の増加、周遊促進を図ります。さらに、国指定史跡である万富東大寺瓦窯跡の史跡整備、大廻小廻山城跡の公有化も進めます。
- 岡山市と瀬戸内市に共通する観光資源などをいかし、観光連携事業の企画、実施や観光客誘致のためのPRを行うことにより、両市における観光客の周遊促進を図ります。
- 地域の交流の場である「元気な新拠点」の活用を促進し、賑わいの創出につなげます。
- ファジアーノ岡山と連携した地域スポーツの振興を促進します。
- 地域住民をはじめ、NPOや企業等による地域課題解決に向けた取組や地域資源を活用した活力創出の取組に対する支援を進めます。
- 地域団体・高校・大学等と連携した区まちづくり独自企画事業を実施することにより、郷土愛の醸成や魅力再発見、地域の活性化等を図ります。
- 主に中山間・周辺地域において、地域住民等との協力による地域活性化の促進を図ります。
- 西大寺駅周辺地区において街路樹や都市公園樹木のボリュームアップなどを進め、季節の移り変わりが感じられるような魅力ある都市空間づくりを進めます。



区まちづくり独自企画事業
(あそびひろばin東区)

用語説明

17 地域未来投資促進法：P81の脚注参照。 | 18 市街化調整区域：P81の脚注参照。 | 19 DX：P12の脚注参照。

方向性2 多世代が交流・活動できる地域づくり

- 区づくり推進事業等を活用しながら、地域のアイデアをいかした取組を促進し、地域住民が主体的に進める地域づくりを支援します。
- 町内会をはじめとした地域団体と小・中・高等学校、大学等の学校や事業者等との連携を進め、若者や働く世代を含めた多世代の地域活動への参加を促進します。
- 地域活動を担う人材の育成につながる講座等の開催などを通じて、地域の新たな担い手の確保・育成を図ります。
- 地域の様々な行事等を通じた多世代の交流を促進するとともに、こども、高齢者等を地域住民全体で見守り、支え合う地域づくりを促進します。

方向性3 企業立地の推進と持続可能な農業の振興

① 優位性をいかした企業誘致

- 瀬戸インターチェンジや産業拠点の周辺などの産業利用の適地において、地域未来投資促進法¹⁷の活用や市街化調整区域¹⁸の開発許可制度の緩和により、工場や物流施設等の立地を推進します。



瀬戸インターチェンジ周辺

② 持続可能な農業の振興

- 新規就農者等の担い手の確保、経営規模の拡大、大規模農家の法人化、付加価値の高い農産物の生産と販路拡大等、経営力の向上に向けた施策を推進するとともに、これを下支えするため、農地の大区画化や排水改良等を通じて農業生産性の向上を図ります。また、鳥獣被害対策として、農地への防護柵や捕獲檻の設置、DX¹⁹を活用した捕獲駆除等への支援を継続していきます。

方向性4 交通利便性の向上

● 主要地方道佐伯長船線（美作岡山道路（瀬戸ジャンクション～熊山インターチェンジ））の整備により、近隣の工業団地や住宅団地等から高速道路へのアクセスを強化するとともに、緊急時、災害時における交通の確保等を図ります。

● 都心部へのアクセス性の向上や区内の各地域間の円滑な移動を確保するため、主要地方道岡山赤穂線（外環状線）、主要地方道岡山牛窓線、主要地方道西大寺山陽線、市道西大寺上中川町1号線等の幹線道路の整備を進めます。



主要地方道岡山赤穂線完成イメージ

● ボトルネックとなっている交差点などを改良することにより、渋滞の緩和・解消を図ります。

● 公共交通の利便性向上を図るため、牛窓方面において、身近な生活関連施設へのバス路線延伸などバス路線の再編に取り組むとともに、乗り継ぎ環境の整備を進めます。また、鉄道の利用促進などに併せ、交通結節点機能の強化を図るため、上道駅のバリアフリー化と駅前広場の整備を進めます。

● 生活交通の運行地域において、利用促進と運行サービスの改善に取り組みます。また、その他の公共交通不便地域では、地域住民及び交通事業者との連携により、日常生活に必要な移動手段を確保するための生活交通の導入を進めます。

方向性5 健やかに暮らせる地域づくり

● 地域の様々な団体が協力し、地域の魅力を再確認して作り上げたウォーキングマップ「ええとこ発見図」等を効果的にPRし、その活用を促進することにより、区民が地域の歴史・文化等への理解を深めながら、気軽に歩くことのできる機会の増加を図ります。

● 地域の特性に応じた健康づくりを充実させるため、健康市民おかやま21東区地域推進会議の活動を進めていきます。

用語説明

20 集中備蓄倉庫：災害時の備蓄物資を保管している大型倉庫。物資が不足している避難所等へ、より迅速・効率的に配送ができるよう、市内各地域に配置し、市内全域をカバーしている。

方向性6 安全・安心な地域づくり

① 津波・浸水対策

● 津波・高潮被害や大雨による浸水等の被害を軽減するため、国、県による吉井川、砂川の早期改修、海岸堤防の津波・高潮対策等のハード整備を促進します。

● 町内会への防災備蓄土及び土のう袋の配布や、用水路の事前水位調整、流末の遊水池の有効活用、河川からの取水調整、河川の水位上昇に伴う各種の操作等のソフト対策により、浸水被害の軽減・防止を図ります。

② 地域の防災・防犯力の強化

● 災害による地域の被害を防止・軽減するため、地域防災リーダーの育成や防災資機材の購入助成、防災訓練への支援等を通じて、自主防災組織の活性化と新規結成を促します。また、避難行動要支援者の個別避難計画の作成等を支援します。

● 災害に備え備蓄物資の分散化を進めるとともに、集中備蓄倉庫²⁰に備蓄物資を配備し、不足する備蓄物資を供給することができる体制を整えます。

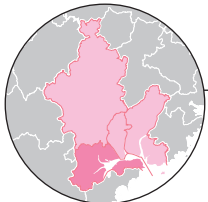


集中備蓄倉庫

● 土砂災害や高潮被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめるため、ハザードマップの普及や出前講座の実施等により、日頃からの危機意識を醸成するとともに、避難方法等の一層の周知を図ります。

● 安全・安心ネットワーク等によるこどもの登下校時の見守り活動や交通安全教室の開催等の自主的な活動を支援するとともに、防犯に関する出前講座の実施等により、防犯ボランティア団体の活動を活性化します。また、地域における防犯灯や防犯カメラの設置等を支援するとともに、警察や防犯団体等との連携を強化しながら交通事故や犯罪を抑制します。

● 用水路等の危険箇所に対する安全対策を図るため、引き続き転落防止柵等を設置するハード対策を行うとともに、啓発ポスターの掲示やチラシの配布等のソフト対策も実施していきます。



南区

① 概況

地勢・都市環境

- 南区は市の南部に位置し、平成17年の合併による旧灘崎町地域を含み、区域の面積は約127km²で岡山市の約16%を占めています。
- 旭川右岸の干拓地と児島半島の丘陵地が、児島湾と児島湖を囲むように位置しており、東には旭川が児島湾に注ぎ、中央に笹ヶ瀬川、南部に倉敷川が日本最大の人造湖（ダム湖を除く）である児島湖に注いでいます。
- 区域の過半が江戸時代以降の干拓地であり、南部には岡山市の農業の中心をなす広大な穀倉地帯が広がっています。経営耕地面積¹は4区中最大で、その中でも田の割合が4区の中で最も高くなっています。
- 区域の北部は、都心部から連続する市街地が広がっており、岡南地域には臨海工業地帯が広がるとともに、大規模商業施設が立地しています。
- 道路は、東西に国道2号、南北に国道30号が整備されており、令和4年4月には市道藤田浦安南町線（外環状線）が開通しました。



南区役所周辺の風景

人口・世帯

- 令和2年国勢調査では、人口は167,828人（市人口の23.2%）と4区の中で2番目に多くなっています。
- 直近5年間の人口動態をみると、社会減の拡大により近年マイナスで推移し続けています。岡山県毎月流動人口調査での令和7年12月1日現在の人口は、162,037人となっています。
- 年少人口比率は、13.7%と平成27年から0.8ポイント減少し、高齢化率は、27.1%と平成27年から2.3ポイント増加しています。
- 夫婦と子どもからなる世帯の割合が、28.9%と4区の中で最も高く、また、1世帯当たりの人員は、2.38人と4区の中で2番目に多くなっています。
- 区民のうち外国人住民が占める割合は2.0%で、約3,400人が居住しています（令和7年11月末現在、住民基本台帳）。
- 周辺地域への通勤・通学者等の流出により、昼間人口²が夜間人口³を下回っています。地域別にみると、北区への流出が最も多く、次いで隣接する他市（倉敷市、玉野市）が多くなっています。

地域資源

歴史・伝統・文化

- 興除、藤田、灘崎地域には、県指定文化財である児島湾開墾第一区の樋門群など新田開発の歴史を今に伝える樋門、堤防等の農業・土木遺産が多くあります。
- 灘崎地域には、国指定史跡にも指定された西日本有数の縄文貝塚である彦崎貝塚や市指定史跡の常山城跡があります。
- 妹尾地域には、18世紀初頭に建立された本殿が残る栗村神社など多数の寺社が存在するほか、干拓地の飲み水確保の困難さを伝えるつちえの井戸等が残されています。
- 浦安地域には、岡山藩主の池田忠継廟等の歴史・文化遺産があります。

自然・景観

- 日本で最初の国立公園として指定された瀬戸内海国立公園内にある金甲山、貝殻山からは瀬戸内の多島美を一望できるほか、児島湖及び隣接する阿部池は多種のガンカモ類が越冬するなど、西日本でも有数の水鳥の観察地となっています。
- 迫川地域には、県南部最大級の桜である県天然記念物の大山桜があります。
- 児島湖周辺では市民の手により河津桜が植樹されています。
- 箕島地域や迫川地域では、これまでの地域住民によるホタルの保全活動により、毎年ホタルの生息が確認されています。

特産品

- 農産物 干拓地の米麦、藤田地域のレタス、たまねぎ、灘崎地域の千両なす等
- 海産物 小串地域のノリ

公共施設

- 浦安総合公園、灘崎町総合公園、山田グリーンパークなど、大規模な公園やスポーツ施設があります。
- 臨港グリーンアベニューや浦安緑道、妹尾緑道、十一番川緑地、福田緑道など、暮らしに潤いを与える緑道公園があります。
- 岡南地域には、野菜、果物、鮮魚等を供給する中央卸売市場、花を供給する地方卸売市場があります。
- 灘崎地域では、いちご狩りやぶどう狩りの体験施設や、地域で栽培された新鮮な農産物などを購入できるロードサイドマーケットがあるサウスヴィレッジが人気の施設となっています。
- 浦安地域には、小型機専用の飛行場である岡南飛行場があり、岡山市消防航空隊（消防ヘリコプター）の基地にもなっています。
- 岡山市消防教育訓練センター水難救助訓練施設（風水害体験エリア）には、住民が模擬体験を通して災害から身を守ることが学べる、全国でも珍しい風水害に特化した体験型の学習施設があります。

出先機関
主な市の

- 南区役所、灘崎支所、地域センター（妹尾、福田、興除、藤田、児島、福浜）
- 福祉事務所（南区西、南区南）、保健センター（南区西、南区南）
- 公民館（岡南、妹尾、福田、興除、藤田、南、福浜、芳田、光南台、灘崎）



貝殻山



桜の馬場樋門



臨港グリーンアベニュー

用語説明

1 経営耕地面積：農林業経営体が経営している耕地のことで、自家で所有している耕地（自作地）と、よそから借りて耕作している耕地（借入耕地）の合計。

2 昼間人口：P161の脚注参照。

3 夜間人口：P161の脚注参照。

区の概況図(南区)



- 凡例
- 歴史・伝統・文化等
 - 自然・景観等
 - 公共施設等
 - 市の出先機関(市庁舎等)
 - 市の出先機関(公民館)



② 現状と課題

防災・防犯

- 国道2号以南の海拔ゼロメートル地帯においては、近年の線状降水帯や大型化する台風による集中豪雨を原因とする内水はん濫被害への対策を進める必要があります。また、児島半島地域では高潮被害が懸念されています。
- 灘崎地域、児島半島地域の山間部では、大雨・長雨や地震等の地盤の緩みによる土砂災害の発生が懸念されています。特に、令和7年3月に発生した大規模な林野火災⁴による焼失区域の復旧等、関係機関に協力して進めていく必要があります。
- 南海トラフ巨大地震においては、広範囲で津波による浸水被害が発生する可能性が指摘されています。
- 各地域では、安全・安心ネットワーク⁵、防犯パトロール隊等により、活発な防災・防犯活動が行われていますが、多くの団体に構成員の高齢化、担い手不足が課題となっています。災害に強く安全・安心な地域づくりに向けて、地域の防災・防犯活動の活性化を図る取組を進めるとともに、自主防災組織⁶の結成促進や、無関心層に対する啓発を一層行っていく必要があります。
- 用水路の危険箇所については、計画的に転落防止柵の設置など安全対策を実施してきましたが、依然として転落事故は発生していることから、引き続き取り組んでいく必要があります。

農林水産業・産業

- 南部に広がる広大な干拓地では、米麦を中心とする農業が盛んであり、また、藤田地域のレタス、たまねぎ、灘崎地域の千両なすなど、高収益作物の栽培に取り組んでいます。引き続き、干拓地農地の規模的な優位性等をいかし、魅力ある農業の振興を推進する必要があります。



千両なす

- 農家戸数は減少傾向にあり、新たな担い手の育成や農地の集積・集約化を促進する必要があります。
- 岡南地域には臨海工業地帯が広がるとともに、大規模商業施設が立地しており、地域の活力を一層高めるため、災害時の協力を含め企業とともに地域の活性化に向けた取組を進める必要があります。
- 物流軸沿線や産業拠点の周辺など、産業利用の適地への企業の立地を進める必要があります。

コミュニティ

- 町内会加入率は比較的高く、地域住民による清掃活動や不法投棄監視など、環境保全活動に加え、高齢者の増加に伴う住民同士の支え合い活動が地域ぐるみで行われるとともに、地域の事業者との連携により環境美化活動や植樹活動、防災訓練をはじめとする様々な地域活動が行われています。
- 高齢化率が30%を超え、担い手が不足するなど、課題を抱えた地域もあることから、持続可能な地域づくりを進めるため、町内会等の地域コミュニティ活動の活性化を支援する必要があります。

特色ある地域づくり

- 県天然記念物である奥迫川の大山桜や空き家跡地を活用した地域づくりなど、地域資源をいかしたイベントにより、世代間の交流を深め、地域の魅力を発信する取組が行われています。



地域で開催されるイベント

用語説明

⁴ 令和7年3月に発生した大規模な林野火災：令和7年3月23日に南区飽浦地内で発生した林野火災。同月28日鎮圧、4月11日鎮火。焼損面積486ha（うち市内472ha）。記録が残る昭和40年以降、県内で最大の林野火災となった。

⁵ 安全・安心ネットワーク：P57の脚注参照。

⁶ 自主防災組織：P28の脚注参照。

- 妹尾地域の音楽によるまちづくりや興除地域特産のお米、藤田地域の野菜にまつわるイベントなど、地域の新たな魅力づくりや人のつながりを深める取組が必要とされています。
- 地域防災リーダーの育成など、地域課題を解決するための取組が行われています。
- 地域の歴史・文化の由来等を紹介する看板（岡山歴史のまちしるべ）を設置し、地域の歴史・文化を学び、楽しむ機会を増やしてきました。今後も歴史・文化遺産等の掘り起こし、情報発信を行うとともに、各地域での特色ある取組を地域間で情報共有することにより、それぞれの活動をより一層活性化することが求められています。



地域の防災士⁷による取組

交通

- 令和4年4月の市道藤田浦安南町線（外環状線）の開通等を通じて、朝夕のピーク時に発生している交通混雑の解消を図ってきました。引き続き、地域の活力や日々の暮らしを支える幹線道路の整備を進めていく必要があります。
- 一部の地域では、バス路線が減便となるなど、公共交通の維持・改善が課題となる中、令和7年度に公設民営方式を導入した支線バスとして「妹尾・北長瀬線」、「妹尾・岡南線」の運行が開始されました。運行を開始した支線バスの利用率アップをめざすとともに、更なる利便性向上を図るなど、引き続き公共交通の維持・改善に取り組む必要があります。
- 地域住民や交通事業者と連携し、生活交通⁸を運行している迫川地区では、停留所の追加や運行日の変更を行うなどの工夫により、利用促進を図ってきました。他にも日常生活における移動が不便な地域が存在しており、買い物や通院等、地域のニーズに合った移動手段を確保していく必要があります。



支線バスFLAt

健康づくり

- 健康増進、こども・子育て支援など身近な交流の場である大規模公園等の利用・存在効果をさらにいかにする必要があります。
- 区内には、高齢化率が高い地域も存在しており、公民館等と連携し、地域の特性に応じた健康づくりをさらに進める必要があります。
- 中学校区単位や保健センター単位で健康市民おかやま21⁹の推進組織をいかし、多様な関係者との連携の幅を広げ、健康づくりを進めています。



サウスヴィレッジ

用語説明

⁷ 防災士：自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人。

⁸ 生活交通：P31の脚注参照。

⁹ 健康市民おかやま21：P70の脚注参照。

③ 区づくりの将来目標

実りの大地に、 世代を超えて未来を育む つながるまち 南区

世界有数の人造湖である児島湖、瀬戸内海国立公園等の豊かな自然環境や、臨海工業地帯が広がり大規模商業施設が立地する岡南地域、都心部から連続する市街地など、多くの人や企業を惹きつける求心力あふれるまちづくりを進めます。

また、実り豊かな農産物を生み出す広大な干拓地での農業を次代に引き継ぎながら、地域資源をいかすとともに、地域のつながりや世代を超えた交流を大切に、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めることにより、子育て世代をはじめ、すべての世代が住み続けたいと思える南区の実現をめざします。

④ 区づくりの重視すべき視点

視点① 地域が一体となって、防災力を高める

- 河川、沿岸部等の危険箇所への対策や避難所の環境整備等を充実させるとともに、自助・共助の精神で区民が互いに協力し合い、自分と大切な人の命を守るという意識を醸成することにより、地域防災力をさらに高めます。

視点② 地域資源を輝かせ、わくわく感を創り出す

- 岡山の食を支える農業を振興し、地域ならではの特産品を広く発信することにより、豊かで活力ある未来につながるまちづくりを進めます。
- 歴史・伝統・文化などの特色をいかしたイベントや祭りに、若者や子育て世代などの幅広い世代が参加することで賑わいが生まれ、住む魅力に満ちた高揚感あふれる地域づくりを進めます。

視点③ 地域をつなげ、快適に暮らせるまちを実現する

- 地域の抱える課題やニーズを踏まえながら、交通利便性の向上や生活交通の確保等を進め、生活環境の維持・向上を図ります。
- 未来に向けて進化し続けるまちをめざし、世代や地域を超えたつながりを深め、区内外の交流を活性化することにより、こどもから高齢者まで、誰もがいきいきと暮らせる、住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

⑤ 施策展開の方向性

方向性1 地域で取り組む防災・防犯対策の充実

① 津波・浸水対策

- 津波や台風、局地的な集中豪雨等による被害を軽減するため、国、県による海岸堤防、笹ヶ瀬川等の護岸の整備や耐震化を促進するとともに、令和7年5月に完成した浦安11号雨水幹線（1工区）に引き続き着手した2工区の雨水幹線整備等のハード整備に加え、用水路の事前水位調整等のソフト対策により、防災機能を強化します。



浦安11号雨水幹線計画図

- 高潮や浸水の危険が事前に予想される場合には、児島湖の管理者や上流地域の水利権者とも協力しながら水位調整を行うなど、広域での連携を通じて、浸水被害の軽減を図ります。また、町内会への防災備蓄土、土のう袋の配布等を通じた自助、共助による浸水被害の軽減・防止を図ります。

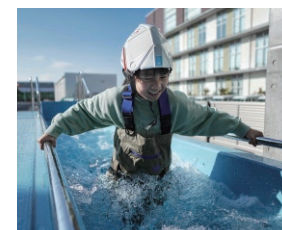
② 地域の防災・防犯力の強化

- 大規模な林野火災の焼失区域が従来の姿を取り戻すには長い年月を要しますが、土砂災害が起こりやすくなっていることなどにも注意しながら、県など関係機関に協力して復旧等を着実に進めます。
- 津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめるため、ハザードマップの普及や出前講座の実施等により、日頃からの危機意識を醸成するとともに、避難方法等の一層の周知を図ります。また、地域との連携による避難所運営機能の充実・強化を図ります。
- 平成30年7月豪雨災害を教訓として、地域防災リーダーの育成、防災資機材の購入助成や防災訓練への支援等、自主防災組織に対する支援強化を図り、組織の活性化と新規結成を促進します。また、避難行動要支援者の個別避難計画の作成等を支援します。

用語説明

¹⁰ 付加価値：P12の脚注参照。

- 避難所においては、体調不良者への配慮や暑さ・寒さ対策など、避難所の環境改善に引き続き取り組んでいきます。
- こどもや若者が遊びを通じて楽しく学べる防災プログラムの提供や、令和7年5月にオープンした岡山市消防教育訓練センター水難救助訓練施設（風水害体験エリア）を活用し、防災への意識啓発を図ります。
- 安全・安心ネットワーク等による防犯や交通安全のための自主的な地域の見回り活動を支援するとともに、防犯ボランティア団体への情報提供や研修の実施等により、活動の活性化及び地域の防犯意識の向上を図ります。
- 犯罪や交通事故の減少等に向けた警察や防犯団体等との連携を強化するとともに、地域における防犯灯や防犯カメラの設置等を推進し、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
- 用水路等の危険箇所に対する安全対策を図るため、引き続き転落防止柵等を設置するハード対策を行うとともに、啓発ポスターの掲示やチラシの配布等のソフト対策も実施していきます。



水難救助訓練施設（風水害体験エリア）での流水歩行体験の様子

方向性2 活力のある農業・産業の振興

- 持続可能な農業をめざして各種施策を国や県、農業者団体等と連携して推進します。また、干拓農地としての規模的な優位性や地理的利便性等をいかしながら、新規就農者等の担い手の確保、経営規模の拡大、低コストで付加価値¹⁰の高い農産物の生産とその販路拡大等により、経営力の向上を図ります。
- 鳥獣被害対策として、農地の防護柵や捕獲檻の設置、捕獲駆除等への支援を継続していきます。
- 主要な農業用排水施設の計画的で効率的な維持管理を行うとともに、農地の用排水機能の強化等による生産性の向上を図ります。

- サウスヴィレッジでのイチゴやブドウなどの収穫体験や地元農家で採れた農産物の直売等を通じて、農業や食への関心を深めてもらい、都市と農村の交流促進を図ります。
- 物流軸沿線や産業拠点の周辺などの産業利用の適地において、地域未来投資促進法¹¹の活用や市街化調整区域¹²の開発許可制度の緩和により、工場や物流施設等の立地を推進します。

方向性3 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化

- 町内会や安全・安心ネットワーク等の地域コミュニティは、災害が起こった際の重要な役割を持つ共助を担う単位でもあることから、その活動の活性化を支援します。
- 高齢化による担い手不足を解消し、地域活動を活性化させるために、地域における世代交流と地域活動への参加意識の向上を図ります。
- 区づくり推進事業等を通じて、地域防災力の向上、地域文化の継承等の地域固有の課題を自ら解決しようとする地域活動を支援します。また、地域活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 地縁団体のみならず、事業者、学校、NPO、行政等の多様な担い手の相互理解やつながりを深めていくことにより、地域全体のまちづくり活動を活性化し、地域の一体感の更なる醸成を図ります。

方向性4 地域の魅力の発掘・発信

- 各地域にある美しい自然や固有の歴史・伝統・文化等を再認識し、地域への関心や愛着を高めるため、国指定史跡である彦崎貝塚に憩える芝生広場を整備し、自然環境豊かな瀬戸内海国立公園、地域の歴史・文化の由来等を記した看板等を活用します。
- 年間を通じて開催されている地域の特色あるイベント等を含め、南区の魅力を広報紙やホームページ、SNS等により区内外に発信し、他地域との交流を促進します。

用語説明

- ¹¹ 地域未来投資促進法：P81の脚注参照。 | ¹³ デマンド型乗合タクシー：P97の脚注参照。
¹² 市街化調整区域：P81の脚注参照。 | ¹⁴ 公共交通不便地域：P168の脚注参照。

方向性5 交通の利便性の向上

- 都心部へのアクセス性の向上や区内の各地域間の円滑な移動を確保するため、引き続き主要地方道岡山児島線等の幹線道路の整備を進めます。
- 公共交通の利便性向上を図るため、妹尾方面、芳泉・岡南方面において、駅や身近な生活関連施設へのバス路線延伸などバス路線の再編に取り組むとともに、乗り継ぎ環境の整備を進めます。
- 迫川地域で運行中のデマンド型乗合タクシー¹³の更なる利用促進や運行改善を地域住民及び運行事業者と連携して取り組みます。また、他の公共交通不便地域¹⁴においても、地域住民及び交通事業者との連携により、日常生活に必要な移動手段を確保するための生活交通の導入を進めます。

方向性6 健やかに暮らせる地域づくり

- 大型遊具のリニューアルが予定されている浦安総合公園、家族連れで賑わう瀬崎町総合公園、山田グリーンパーク等の大規模公園やスポーツ施設等の地域資源をさらに充実させ子育てしやすいまちづくりを促進するとともに、こどもから高齢者までの健康づくりを進めます。
- 地域の特性に応じた健康づくりをさらに進めるため、公民館、学校園、企業、各種団体の協力を得ながら、中学校区単位や保健センター単位で健康市民おかやま21の活動の充実を図ります。



浦安総合公園